

肝ぞう通信

2025年度 第7号 《胆道の病気》

お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院1階 総合相談室

受付時間：(休診日は除く) 月～金：9:00～15:00 土(第1・3・5)：9:00～12:00

豆知識

胆道疾患とくに胆石や胆管結石がある場合は、脂質の多い食事を一度に多く摂ると、胆囊の収縮などにより石が移動して狭いところに詰まり、痛みを誘発する可能性があります。

次回号

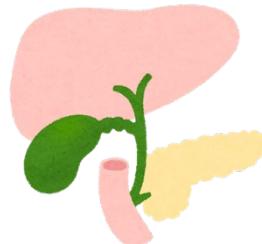
テーマ：肝臓に良い食事
(予定)

発行責任者

東海大学医学部付属病院
肝疾患医療センター長
加川 建弘

胆道の特徴：

肝臓と胆道疾患は異なる病気のように見えますが、大変密接な関わりを持っています。肝細胞から作られた胆汁の流れ道である胆管が肝臓内を縦横無尽に張り巡らされています。細かい胆管が最終的に肝臓の真ん中の下にある肝門部というところで集結して総胆管となります。途中で胆汁をためる胆囊を横にぶら下げて、脾臓の中を通り、腸管を貫いて十二指腸内へ胆汁を送り出します。長さは短いですが、様々な臓器の中を通り抜けていくため、胆道に病気がおきると様々な症状がみられます。



胆道の病気でおきる症状：

胆道の中を胆汁が日々たくさん流れています。そのため、病気ができて詰まってしまうと、胆汁が逆流して胆汁の黄色い成分が血液に流れ込んで黄疸をきたします。肝臓は大変血の巡りが良いので、詰まった胆管に細菌感染すると、細菌が血液に流れ込みやすく、菌血症をきたしやすくなります。また、ひどい胆囊炎で穴が空いたり、腹部の交通事故などの外傷によって胆道が裂けてしまうと、胆汁が腹腔内に流れることで腹膜炎をきたすことがあります。胆石や胆管結石が詰まることによる痛みは尿管結石と同様に人が感じる痛みの中でも最も強い痛みといわれています。

胆道の診断に用いられる検査：

胆道の診断に最も力を発揮するのは腹部エコーです。当院は高機能な超音波観測装置とトレーニングされた専門技師が担当します。検診で使われるため、ともすると簡易検査と思われがちですが、実は肝胆脾疾患の診断で最も重要な検査です。また、造影剤を用いたCT検査、MRI検査をおこないます。高機能な撮影装置を用い、放射線技師、放射線科医師のご協力で丁寧に撮影、診断がなされます。これらの検査で画像的な診断をしたうえで、最終的な組織学的な確定診断をおこないます。胆管はとても細くて微細な臓器です。